

# 安心と笑顔のために

日本共産党札幌市議団ニュース

No. 322 2023年7月6日

日本共産党札幌市議団 事務局 TEL 211-3221 / fax 218-5124

## 利用者にとって路面電車との乗り継ぎが重要

6月29日 議案審査特別委員会 小形かおり委員

第二回定例市議会に公共交通システム検討費補正予算額として2700万円が計上されていることを受けて小形市議が質問に立ちました。

同市議は最初に「高齢者や障害のある方が移動しやすい乗り物になるのかという点に注目している。今回の補正予算の内容はどのようなものなのか」と質問。市の担当者は「2024年度、2025年度に予定する、(決済方法等を含む)スムーズな車両の予約に取り組むためのシステムを導入し社会実験の準備を行うもの」と答弁しました。同市議は「市民が利用しやすい乗り物(定刻が守られる、路線がわかりやすい等)にするために、他の公共交通とどうやってスムーズに乗り換えできるのかということが、ここが大事な点」、「新たな公共交通システムについて、その他の地域とどのように乗り継ぐのか」と質問しました。市の担当者は「新たな公共交通システムの導入効果をより発揮させるためには、都心部の既存の公共交通機関とスムーズに乗り換えができることが重要な視点であると認識」、「今後の検討では、札幌駅や大通駅などの主要な交通結節点において、路面電車も含めた他の公共交通機関とどのように乗り換えすべきか、議論を進めてまいりたい」と答弁しました。

最後に小形市議は「今の路面電車から乗り換えができる点が利用者にとって重要だ」と主張し質問を終えました。

## 子どもに快適な環境をいち早く整備を

7月4日 議案審査特別委員会 田中啓介委員

児童会館等環境改善費として補正予算額が2000万円計上され、その内訳は『ミニ児童会館における移動式エアコンの購入費596万3000円、学習端末費を使用できる環境整備として、全ての児童会館およびミニ児童会館等にWi-Fi整備費1142万3000円、AED整備費261万4000円』となっています。

田中市議は「近年、札幌市も本州と同じように、真夏日が何日も続くようになっている。エアコンは、全てのミニ児童会館に設置されるべきだと思いますけども、本補正予算で何ヶ所のミニ児童会館に設置されることになるのか」と質問。市の担当者は「現在、ミニ児童会館数は90館。14館には、既にエアコンが設置済み。今回の補正予算におきましては、42館についてエアコンを整備。残りの5館については、学校改築とともに設置。残り29館については学校で現在既に導入をしており、それを借り受けている」と実質的に全館へ設置されると答弁しました。次に田中市議は「今回の補正予算では、小学生たちの夏休みに間に合わないのではないか。そこで、なぜ当初予算ではなく、補正予算としたのか」と質問。市の担当者は「本来であれば、アクションプランに計上しそれに基づいて予算を組んで、来年度からの予算化ということになるが、少しでも早く子どもたちに快適な環境を整えたいという思いから今回は前倒しして、補正予算化して計上した」と答弁しました。

最後に田中市議は「前倒しをしたということであれば、それを一刻も早く準備して子どもに良い環境を」と求めました。